

一心太助の天秤棒

～前の籠には責任を、後の籠には信頼を、
肩に担いで売り歩く～



越谷市議員 白川 ひでつぐ
シリーズNO 47

駅頭は小さなドラマの連続だ！

初当選以来15年間、毎日毎朝続ける東武鉄道の市内6駅での朝、夜の駅立ちは、通算3000日を超えました。私の日々のツイッターのつぶやきから、転載したものを含め、駅前での様々な市民との出会いや何気ない駅前の風景、市民の日常を通して暮らしの息遣いをエピソード集としてシリーズでお届けしています。

今年も飛来した、せんげん台駅前の

ムクドリを巡って

今朝の駅立ちは、せんげん台駅東口で、何時もの様に午前5時30分前に駅に到着し、街宣用具の設営の後、駅前清掃を行い、市政レポートの配布をスタートした。



猛烈な暑さが続いているため、午前7時頃には気温がどんどん上昇して来る。

馴染みの20代の女性と笑顔のあいさつの後、双子のお姉さんの話になり、転職して今日が初出勤だとのこと。(何時も早朝の笑顔でやさしく受け取って頂いているので、今日のように1時間以上もの暑さの中、市政レポートの配布行動には、何時にも増してホットした)

実は前回の同駅の駅頭でどうしても何時も市政レポートを受け取って頂くのですか、と尋ねた折に、姉が先に受け取っていたので、自分も自然の受け取る様になっていました、との話だった。

ところで、市政レポートの感想は、とも尋ねたが、「駅頭シリーズ」は、様々な市民の反応

が身近に感じられて面白い、との返答だった。

午前8時頃、件のお姉さんとお会いして、転職に関して正規雇用で初出勤の話になったので、暑さが続きますが、がんばって下さい、と送り出した。

また、30代のママさんが自転車で駅近くの保育園に子どもさんを送り届けた後、話し掛けられた。昨年同様の夜の駅立ちの折、越谷市の婚活について陳情を受け、色々調査して資料を郵送して対応した。

その件のに関して、お礼をしていなかったのを、改めてお礼をさせていただきますと、丁寧に挨拶をされた。

更に、郵送された封筒の切手代金をお支払します、との申し出だったので、大丈夫ですよ、そのために政務活動費を頂いていますので、ご心配なさらずに、と応じた。

しかし、どうしてもと話されて、演台の上にあるカンパ箱にワンコインのカンパを頂いた。

早朝から毎日同駅前の広場の清掃に取り組む高齢男性から、声が掛かった。

毎回清涼飲料水の差し入れを頂いているが、今日も頂いた。

駅前の木立にムクドリが大量に飛来して、鳴き声がうるさく、また路上に落ちる糞の悪臭が一面に漂っていたので、先週市の担当に陳情したが、今日まで何の対応がなされないの、善処して欲しい、と相談された。

確かに、例年ならばムクドリ対策用のギャーギャーと大音響のスピーカーが設置されているが、今年はまだ設置されていないので、駅頭終了後早速、環境政策課長さんに、事情を聞きに行った。

それによると、スピーカーは地元商店街の管理下にあり、今年早々に梅雨があけて、連日の猛暑のため、匂いが消えず、市民に不快な思いをさせている、と現状を認識されていた。

また、大音量のスピーカーに対して一年目は効果があるが、直ぐにムクドリが学習して慣れてしまう事、更に鷹による一掃手段のため鷹匠にも相談したが、回りに高いビルが林立しており、鷹が本来の機能が果せない、との事だった。



(裏へ)

そこで、今日から3日間にわたり夕方2時間程職員がムクドリ撃退用の道具を使いムクドリに向けて威嚇をします、との事だった。

この作業状況を見ながら、更なる対応をします、との話だった。連日の猛暑の中ご苦勞様です、と担当職員へのお礼と勞を勞った。

午前8時過ぎ、馴染みの男子高校生が何時もの様に市政レポートを受け取ってもらっているので、話しかけた。

越谷技術高校の2年生で、下間久里に住んでいて、せんげん台駅から越谷駅まで電車を利用し、それから自転車で通学している、との事。

今年で32歳になる私の二男が、同校を卒業した、との話に驚いていたが、市政レポートは面白いですか、と尋ねた。

すると、前述した20代の女性と同じ様に市民の様々な対応や反応がとても面白い、との返事だった。

駅頭シリーズは、日記風に記述されてはいるが、社会に向き合うためある一つの見方を示めようと、継続的に発行しており、その意味が届いている事を感じた朝となった。

(7月2日)

“便利で豊かな”社会の裏側にあるもの

今朝の駅立ちは、せんげん台駅西口で、午前5時20分すぎから開始して、午前8時30分まで取り組んだ。

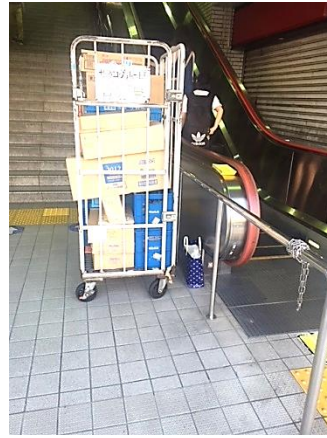
午前6時頃、何時もは7時過ぎに作業がはじまる駅前広場に停車したトラックから荷を下ろし、大きなカーゴに積み替えてエスカレーター横まで、手押しして定位置に移動。

それから荷物を両手一杯に抱え、エスカレーターを昇って行き、その後降りて来て同じ動作を5回ほど繰り返す毎回の行動だ。

しかし、今朝は早い作業だったので、話し掛けて見た。今日の作業は随分早いんですね、と。

すると、他に回らなければならない店があったので、との返事だった。これは何処に運ぶのですか、と尋ねたら、駅ビル2階のあるパン店に運んでいる、との事。

毎日こんなに沢山



運び込むのですねーと応答したら、そうです、との返事だった。

毎回同駅で、お会いする方なので、すっかり馴染みとなつてはいるが、時々利用するパン店の材料等は、早朝しかも毎日のこの様な運搬作業によって始動している。

また以前、このパン店の女性従業員の方から、笑顔であいさつをされた事があり、私を知っていますか、と話した事があった。同じ様に早朝から仕込み等をするので、駅頭の私を見かけていたので、との返事だった。

24時間をフルタイムで仕事分担、細分化され、今日の“便利で豊かな”暮らしが維持されており、一見すれば発展している様に見える。しかしその裏にはこれまではない様々な労働と作業が発生し、それによって労働形態が劇的に変化している。ライフスタイルも同様に。しかし“便利で豊かな”社会がこれからも同じように持続出来るとは思わないのだが。

(7月3日)

3分で済ませた、行政調査日の朝食

今朝の駅立ちは、大袋駅東口で通常通り午前6時前から開始し、午前8時30分まで実施した。

ただ、今日、明日と建設常任委員会の行政調査のため、午前9時40分までに大宮駅の豆の木前に集合となっていた。

そのため、街宣用具をバタバタと片付けて、直ぐに大袋駅から大宮に向かうため、ホームに駆け込んだら同じ常任委員会の松田典子議員も電車を待っておられたので、一緒に乗り込んだ。

午前9時25分頃に大宮駅に到着したものの、朝食を駅構内の喫茶店で取るため、急いで注文したのだが、時間がないため何と3分でトースト、サラダ、コーヒーを流し込んだ。

やっと集合時間5分前までに、他の建設常任委員会の所属の議員と合流できたが、私が最後に集合する結果になった。

何ともあわただしい朝となったが、調査地の群馬県藤岡市に向かう列車の中で、やっと、少し落ち着いている。

(7月4日)

